

バレンタインでしたね。
どんなチョコを食べましたか？
手作りしましたか？
現在図書館ではチョコレートの本を展示しています。
プロ並みのレシピから小さなお子様もできるレシピまで、
いろいろ取りそろえています。ぜひ見に来てください。
さあ、図書館便りを片手に、
新しい本とどんどん出会しましょう！



○11HR図書委員稲田のオススメ

書名 ケーキ王子の名推理
著者名 七月隆文

私がオススメする本は、『ケーキ王子の名推理』という小説です。
この本の主人公である未羽は、バカがつくほどのケーキ好きで天真爛漫な性格をしています。それとは逆に、未羽がケーキ屋で出会った学校一のイケメン王子である颯人は、他人のことには興味を示さなくて冷たい性格です。
正反対に見える2人ですが、お互いのケーキに対する思いは強く、だんだん惹かれ合っていきます。話の途中にあるケーキについてのコラムも読んでいてとても面白いです。バレンタインで賑わうこの季節に、読んでみてはいかがでしょうか！
図書館にありますよ!!

○12HR図書委員野口のオススメ!

書名 『天気の子』
著者名 新海誠

高校一年生の夏、離島から家出をし、東京にやってきた帆高。連日降り続ける雨の中、孤独な帆高は陽菜という少女に出会う。弟と2人でたくましく生きる彼女には、不思議な能力があった。
「ねえ。今から晴れるよ。」少しずつ雨が止み、太陽に照らし出される街並み。それは、祈るだけで空を晴れにできる能力だった。
この作品の一番のポイントは天気の情景描写です。天気はただの空模様なので言葉に表すのが非常に難しいですが、この作品ではそれが細かく写実されており、その情景が浮かんでいきます。天気とリンクしている登場人物達の心情にも注目してもらいたいです。16歳の少年が、孤独な東京で陽菜と出会い、何を思い、何を感じたのか。そして、陽菜の能力の秘密について見届けてください。

○12HR図書委員石川のオススメ!

書名 『生きてさえいれば』
著者名 小坂流加

心臓の病気を持っている叔母春桜の見舞いに来ていた甥千景が、春桜が宛名を書かずに大切に手元に置いている手紙を見つけます。病室を出ることができない春桜の代わりに、千景がひとりて手紙を届けることで再び進み始める春桜の青春の物語です。
『生きてさえいれば』は、恋愛小説でもありますが、感動小説でもあります。何気なく過ごしている日々の中で、徐々に薄れてしまう命のありがたみや生きていることに対する感動を考えさせてくれ、教えてくれます。今生きていることが心に響き、生きることに勇気が沸きます。
泣ける場面もたくさんありますが、読み終えた後は幸せでいっぱいになれる最高のストーリーです。恋愛小説が好きの方、泣きたい方、どなたでも楽しめる小説です。

○図書係うさもものオススメ!

今月はバレンタインにちなみ、お菓子の本をご紹介します!もちろん阿波高校図書館所蔵の本です。まず1冊目!
『大人気YouTuber "cook kafemaru"の
罪深いスイーツ

だれでもかんたんに作れちゃう秘密のレシピ

「だれでもかんたんに…」と謳っているだけあり、材料も身近にあるもので、使う道具もシンプルです。行程も写真で丁寧に紹介されているので、すぐにでも作れそう…、それもおいしいそうにできそう…な気がします。まだ実践していないので、ばかしておきますけど。お菓子作りが得意な人なら、絶対できそうです、と言うに止めておきます。
2冊目は、職員室の机の上に立てて置いていたら、通り過ぎる先生方の目を奪ったこの本!

『みんなが好きなにっぽんの甘味まっちゃんのおやつ』

表紙のどらやきが、夕方の疲れた先生方に優しく「何か」を語りかけていたのですね。きっと。日本の材料を使っていて、これまた「身近な材料、身近な道具で」作れて、「むずかしいレシピは一切ない」とまっちゃんが言っています。どなたか作ってご報告を!

~3月号は13HR&14HRが担当します。お楽しみに。~

